

2020年度事業計画
2020年7月1日～2021年6月30日

『公益目的事業1』

1 競技会事業

1-1 全日本アイスホッケー選手権大会の主催

本部	委員会	区分	助成等	事業名	期日	開催地
事業	競技事業	主催	-	第88回全日本アイスホッケー選手権(A)	2020/12/10 2020/12/13	東京都 西東京市
			JSC基金	第55回全日本アイスホッケー選手権(B)	2021/3/5 2021/3/7	岩手県 盛岡市・花巻市
			JSC基金	第40回全日本女子アイスホッケー選手権	2021/3/11 2021/3/14	北海道 札幌市・帯広市
				第88回全日本アイスホッケー選手権大会(A)予選会	2020/10/3 2020/10/4	北海道 帯広市

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

1-2 その他国内競技会の主催と共催

本部	委員会	区分	助成等	事業名	期日	開催地		
事業	競技事業	共催	-	アジアリーグ・アイスホッケー	調整中			
				男子代表国内強化試合 仮称)ジャパンカップ				
		共催	-	第16回全日本少年アイスホッケー大会 小学の部“風越カップ”	2021/3/ 2021/3/	長野県 軽井沢町		
			-	第15回全日本少年アイスホッケー大会 中学の部	2021/3/25 2021/3/29	北海道 釧路市		
			-	第15回全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会“日光杯”	2020/11/20 2020/11/23	栃木県 日光市		
			-	第15回全国高等学校選抜アイスホッケー大会	中止	北海道 苫小牧市		
			-	第41回全国中学校体育大会	2021/2/4 2021/2/7	青森県 八戸市		
			-	第70回全国高等学校総合体育大会	2021/1/20 2021/1/25	長野県 長野市		
		主催	JSC/J	第9回日本女子アイスホッケーリーグ	2020/10/16-18 2020/11/13-15 2021/2/26-28	北海道釧路市 北海道苫小牧市 北海道帯広市		
				第8回日本学生女子アイスホッケー大会	2020/10/22 2020/10/25	岡山県 岡山市、倉敷市		
		後援	-	J-ICE Northディビジョン	2019/9/ 2020/2/	北海道		
			-	J-ICE Eastディビジョン				
			-	J-ICE Centralディビジョン				
			-	J-ICE Westディビジョン				
			-	J-ICE Southディビジョン				
			-	J-ICE Play Off				
		国体	共催	-	第93回日本学生氷上競技選手権大会	未定	青森県 八戸市	
				-	第76回国民体育大会冬季大会 □開催負担金支出	2021/1/27 2021/1/31	愛知県 名古屋、豊橋市	
		普及	生涯スポーツ化	主催	-	第26回全日本オールドタイマー大会Over50	2021/4/	福島県 郡山市
					-	第9回全日本オールドタイマー大会Over60	2021/3/	熊本県 熊本市
					-	第5回全日本オールドタイマー大会Over70	2021/3/	熊本県 熊本市
					-	第9回全国社会人アイスホッケー大会Over35	2021/5/	東京都 江戸川区
			インライン	主催	-	第23回全日本インラインホッケー選手権(A)	2021/6/	北海道 帯広市
					スポ安	第23回全日本インラインホッケー選手権(B)	2020/7/ 中止	兵庫県 丹波市
					スポ安	第23回全日本インラインホッケー選手権(L)	2020/7/ 中止	兵庫県 丹波市
			普及	主催	太陽生命	第9回全日本小学生低学年選抜大会【太陽生命U9ジャパンカップ】	2021/3/	神奈川県 横浜市
					-	競技会補助事業 (北海道地区) 第48回日ア連会長杯東北北海道大会		北海道
-	競技会補助事業 (北海道地区) 第48回道南地区新人小学生大会					北海道		
-	競技会補助事業 (北海道地区) 第36回日ア連会長杯小学生道央大会					北海道		
-	競技会補助事業 (東北地区) 第48回東日本ジュニア選手権大会				2021/1/	東北ブロック		
-	競技会補助事業 (関東・東京地区) 第46回関東少年大会				2021/2/ 2021/2/	栃木県 日光市		
-	競技会補助事業 (関東・東京地区) 第36回東京都春季アイスホッケー大会					東京都		
-	競技会補助事業 (北信越・東海地区) 第16回風越カップ北信越・東海ブロック予選会				2021/2/	北信越・東海ブロッ ク		
-	競技会補助事業 (近畿地区) 第47回西日本小・中学生競技大会				2021/3/ 2021/4/	大阪府 大阪市		
-	競技会補助事業 (中四国地区) 第18回岡山サマーカップ争奪小・中学生選手権大会				2021/2/	岡山県 倉敷市		
-	競技会補助事業 (九州地区) 第37回九州小・中学生選手権大会				2021/3/	熊本県 熊本市		

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

1-3国際競技会

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
事業	強化(競技事業)				

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

1-4国際競技会への代表者の派遣

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
強化	強化	JOC	男子世界選手権Division I B / 事前合宿	2021/4/26 2021/5/2	ポーランド カトヴィツェ
		JOC	ユーロアイスホッケーチャレンジ	2020年12月	未定
		JOC	ユーロアイスホッケーチャレンジ	2021年2月	未定
		JOC次世代	男子U20世界選手権Division I B / 事前合宿	2021/2/10 2021/2/17	エストニア タリン
		JOC次世代	男子U18世界選手権Division I A / 事前合宿	2021/4/5 2021/4/11	スロバキア スビェツカール・ハーベス
		JOC	女子世界選手権 / 事前合宿	2021/4/7 2021/4/17	カナダ ハリファックス、トルロ
		JOC次世代	女子U18世界選手権 / 事前合宿	2021/1/10 2021/1/16	ハンガリー ジェール
			ユニバーシアード冬季競技大会(2021/ルツェルン)	2021年1月	スイス ルツェルン

※期日は大会期間であり派遣期間とは異なる。期日、開催地などは変更になる場合がある。

参考：国際アイスホッケー連盟ナショナルチームブレイク

	2020/2021シーズン	2021/2022シーズン	2022/2023シーズン
第1	2020/08/24-08/30	2021/08/23-08/29	2022/08/22-08/28
第2	2020/11/02-11/08	2021/11/08-11/14	2022/11/07-11/13
第3	2020/12/14-12/20	2021/12/13-12/19	2022/12/12-12/18
第4	2021/02/08-02/14	2022/02/07-02/13	2023/02/06-02/12

2講習・育成事業

2-1審判員・競技役員等の養成講習事業

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
事業	レフェリー	-	レフェリークリニック	2020/7/1~	全国各地

2-2アイスホッケーの競技力向上の講習事業

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
強化	医科学安全	-	アンチ・ドーピング講習 対象:主催大会参加者		
		-	アンチ・ドーピング講習 対象:代表強化事業参加者		
		-	アンチ・ドーピング啓発普及活動 教育資料送付(加盟団体・代表強化事業参加者・検査対象競技会参加チームなど)		
	NTC	-	男女強化スクール		
普及	普及	JSCくじ	スキルチャレンジ・クリニック	10月~2021年3月	全国各地 開催地未定
		太陽生命	ジュニアアイスホッケークリニック(全国3箇所予定)	10月~2021年3月	全国各地 開催地未定
			日本版ADMの構築に向けた普及指導コーチ派遣事業	2020/7-2021/6	
			ジャパンディベロップメント ハウスリーグ(仮称)トライアル開催	2020/9-2021/5	神奈川・大阪

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

2-3指導者養成講習事業

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
普及	育成 (医科学安全) (総務委員会)		公益財団法人日本スポーツ協会公認指導者養成講習会 (含アンチ・ドーピング講習、コンプライアンス講習)	2020/9-2021/6	北海道苫小牧・帯広・釧路 東京都北区ほか

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

2-4 海外遠征チームの競技力向上合宿

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
強化	強化	JOC	男子代表合宿	2020年8月	苫小牧
		JOC	男子代表合宿	2021年4月	苫小牧
		JOC	男子国内強化試合(日韓戦)	2021年4月	苫小牧
		JOC	男子代表合宿	2021年6月	未定
		JSC<J	男子U20キャンプ①	2020年8月	苫小牧
		JSC<J	男子U20キャンプ②	2020年10月	苫小牧
		JSC<J	男子U20キャンプ③	2020年12月または 2021年1月	未定
		JSC<J	男子U18キャンプ①	2020年8月	苫小牧
		JSC<J	男子U18キャンプ②	2020年11月	未定
		JSC<J	男子U18キャンプ③	2021年2月	未定
		JSC<J	男子U18キャンプ④	2021年3月	苫小牧
		JSC<J	男子U16キャンプ①	2020年8月	苫小牧
		JSC<J	男子U16キャンプ②	2020年9月	苫小牧
		JSC<J	男子U16キャンプ③	2021年2月	苫小牧
		JSC<J	男子U16キャンプ④	未定	未定
		JSC<J	男子U16キャンプ⑤(ブロックキャンプ(1)~(8))	2020年9月~	全国
		JSC<J	男子U14キャンプ①	未定	未定
		JSC<J	男子U14キャンプ②	未定	未定
		JOC	女子8月合宿	2020年8月	苫小牧
		JOC	女子9月合宿	2020年9月	苫小牧
		JOC	女子10月合宿	2020年10月	苫小牧
		JOC	女子11月合宿	2020年11月	釧路
		JOC	女子ヨーロッパ遠征	2020年12月	未定
		JOC	女子ヨーロッパ遠征	2021年1月	未定
		JOC	女子2月合宿	2021年2月	苫小牧
		JOC	女子3月合宿	2021年3月	苫小牧
		JOC	女子5月合宿	2021年5月	苫小牧
		JOC	女子6月合宿	2021年6月	苫小牧
		JSC<J	女子トレーニングキャンプ ①	未定	未定
		JSC<J	女子トレーニングキャンプ ②	未定	未定
		JSC<J	女子トレーニングキャンプ ③	未定	未定
		JSC<J	女子トレーニングキャンプ ④	未定	未定
		JSC<J	女子U18キャンプ ①	2020年8月	苫小牧
		JSC<J	女子U18キャンプ ②	2020年10月	苫小牧
		JSC<J	女子U18キャンプ ③(EHT4Nations)	2020年12月	チェコ
		JSC<J	女子U18キャンプ ④(世界選手権事前合宿)	2020年12月または 2021年1月	未定
		JSC<J	女子U16キャンプ ①(ヨーロッパ遠征)	2020年9月~	未定
		JSC<J	女子U16キャンプ ②	2021年2月	苫小牧
		JSC<J	女子U16キャンプ ③	2021年3月	苫小牧
		JSC<J	女子U16キャンプ ④(ブロックキャンプ①~④)	2020年9月~	全国
		JSC<J	女子U16キャンプ ⑤(2021ヨーロッパカップ)	2021年4月	未定
		JSC<J	女子U14キャンプ ①	2020年8月	未定
		JSC<J	女子U14キャンプ ②(Stoney Creek Tournament)	2020年9月	カナダ
		JSC<J	女子U14キャンプ ③	未定	未定

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

2-5アイスホッケーの普及奨励事業

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
事業	競技事業 レフェリー 普及	JSC強化	アジアリーグ活性化事業	通年	
総務	総務	-	登録データ管理・情報システム拡充	通年	
企画	マーケティング広報	-	ホームページ管理運営・Web環境整備	通年	
	国際	外務省	アジアアイスホッケースキルアップ支援プロジェクト ※スポーツ外交派遣事業助成申請中	2020年末	ネパール

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

3競技技術の調査研究事業

本部	委員会	助成等	事業名	期日	開催地
普及	育成	-	海外育成強化システムの調査研究導入事業 □育成強化情報 □戦術情報	2020/7-2021/6	東京都
強化	強化	JOC	競技会等強化視察 □強化スタッフによる全国各カテゴリー競技会および海外(対戦国)などの視察とスカウティング 専任コーチングスタッフ配置(コーチアカデミー参加者2名) □トップコーチ3名、ジュニア担当コーチ3名、メディカルスタッフ2名	通年	全国各地
			国際的医科学・安全管理情報の収集	未定	未定
	医科学安全	-	安全管理基準策定と普及 感染症対策	2020/12/10 2020/12/13	東京都 西東京市
		-	ドーピング検査(競技会) 全日本選手権(A)	2021/3/11 2021/3/14	北海道 札幌市・帯広市
事業	競技事業	-	公式記録作成マニュアルの調査研究及び作成、日ア連faceoffシステムの改修 競技運営に関する各種マニュアルの整備	通年	

※期日、開催地などは変更になる場合がある。

4競技施設及び用具等の研究指導並びに公認事業

本部	委員会	事業名
強化	医科学安全	安全管理機材・機器等の普及 AED、スパインボード、ヘッドイモバイザー、フレキシブルゴールベグほか
事業	競技事業	施設・設備・用具等の公認
総務	総務	□電光掲示装置ほか
総務	環境	環境に配慮した施設や大会運営に関する検討と指導
企画	企画	ビデオゴールジャッジシステムの簡易汎用化の研究と普及
事業	競技事業、レフェリー	
総務	総務	苫小牧市NTCマネジメント受託事業
強化	NTC、強化	

5その他

本部	委員会	事業名
企画	マーケティング広報	スポンサー誘致活動
総務	総務	寄付金募集

『収益事業1』

1物品販売事業

本部	委員会	事業名
企画	マーケティング広報	商標・肖像などの管理・販売 TV放送・映像などの管理販売

2標章等の使用許可事業

本部	委員会	事業名	期日
企画	マーケティング広報	商標・肖像などの管理・販売	通年
		グッズの企画販売	秋以降
		映像アーカイブの保持・管理	通年
		TV放送権などの管理・販売	通年

『その他』

本部	委員会	助成等	事業名
総務	総務	JSCKJ	諸規程等総合整備事業
		-	国際アイスホッケー連盟・日本体育協会・日本オリンピック委員会加盟
		-	理事会・評議員会開催 □定時評議員会(令和2年9月22日開催予定) □理事会(令和年9月5日開催予定、ほか必要に応じて開催)
	審議	-	総務委員会活動会議 □諸規程の検討・整備 □事務局運営の検討 □法人運営に関する改善検討
環境	-	審議委員会活動会議 □ベナルティ報告の管理・指導 □登録資格などの管理・指導	
企画	国際	-	アジア地域へのアイスホッケーを通じた国際貢献活動の企画検討 国際会議出席(IIHFアジア会議・IIHF年次総会・IIHF準年次総会等) GGG(グローバル・ガールズ・ゲーム)開催サポート レフェリー・指導者等の海外派遣サポート 国内での国際競技会開催サポート 国際人養成(アカデミー受講等) 海外団体等からの情報への対応(競技会への誘致など)
	マーケティング広報	-	マーケ スポンサー誘致に関する企画検討及び誘致活動 公式グッズ等の企画及び制作販売活動 商標・肖像・放映権等の管理販売活動 広報 メディア関係者とのコミュニケーション活動 記者会見等の企画運営 国内での競技会における広報策の検討及び取材対応 アイスホッケーに関する情報発信及び発信環境整備 当連盟に関して発信する情報の管理
	企画	-	国内のアイスアリーナ・スケートリンク施設の向上及び増加に向けた調査研究 女子競技者・指導者・レフェリー・競技役員等の活動環境の向上に向けた調査研究 海外育成強化システムの調査研究及び導入に向けた検討 中長期計画の策定に向けた検討及び円滑なスケジューリングに向けた調査研究 アジアリーグとの連携による国内最高峰リーグの企画検討 A1カメラベースの育成支援と収益事業化検討
普及	普及	-	普及委員会活動 他の委員会との連携による日本版ADM(年代別一貫育成システム)の構築へ向けた研究 アイスホッケーの競技人口、応援人口、支援人口などについての増加対策の検討 □普及委員会の機能拡充についての検討 普及指導コーチの確保と地方連盟等への派遣 □スキルチャレンジ実施マニュアルによる事業の普及と計測結果の活用による隠れたタレントの発掘
	育成	-	公認指導者養成講習 □一貫指導体制の構築＝ライセンス制度見直し・新設 2021年からの実施を目指し、FUNDamental(楽しさ・基礎)Eラーニング制度の導入含む、制度の見直しを図る □日本独自の育成プログラム・スタンダード作成 指導者教本の作成(アイスホッケー先進国の育成システムを調査→検討→ジャパン ディベロップメント モデル(JDM)の作成 育成プログラムのモデル作成(ジャパン ディベロップメント ハウスリーグ(仮称)提案(トライアルで神奈川・大阪で開催検討)
	生涯スポーツ化	-	オールタイム大会 生涯スポーツとしての成熟度を高めるための年齢別カテゴリーの拡大と安全な試合運営への制度の改善 大会参加を通じた人的ネットワークの拡大と「アイスホッケーファミリー」の結集による支援体制の拡充 全国社会人大会 大会参加基準、開催時期及び周知方法等の見直し
	インライン	-	インライン委員会活動 登録者数減少に歯止めをかけるための地域ごとのジュニア大会の開催及び中断している全国大会の復活に関する検討 インラインホッケーの利用可能な施設の状況調査の実施
強化	強化	-	強化活動会議、コンディショニングアプリの利用 □強化方針、計画、強化育成に関する施策などを検討
	医科学安全	-	医科学安全委員会活動会議、AEDリリース □傷害報告の管理と分析、医科学的情報の共有、安全管理施策を検討
	NTC	-	NTC委員会活動 NTC競技別拠点を利用する各種事業における効率的活用に関する事項を検討・実行
事業	競技事業	-	競技事業委員会活動 □J-ICE、女子日本リーグ、アジアリーグ国内開催等のリーグ戦の円滑な運営方法の検討と管理 □主催競技会開催地の年度毎調整 国内に於ける国際大会開催マニュアルの検討 小中学生の為の主催選手権大会開催検討 開催要項、競技会開催経費支出に関する規程、競技会運営マニュアルの検討
	国体	-	国体委員会活動 ブロック予選ならびに本大会での競技別実施要項の精査検討及び指導 開催県誘致に係る協力、開催決定県への運営指導 □加盟団体に向けた国体に関するQ&Aの作成
	学生	-	学生委員会活動 学生選手の競技環境の調査研究と指導 □学生競技会の実施状況の調査研究と調整指導
	レフェリー	-	レフェリー委員会活動会議 □レフェリー、ラインズマンの発掘、育成、教育に関する施策の検討 □国際レフェリー、ラインズマンの養成に関する施策の検討
理事会直轄	倫理	-	倫理委員会活動 □綱紀粛正の周知徹底 □倫理・社会規範意識の啓蒙 □通報相談窓口の設置・運営

特別委員会	改革項目	検討課題
改革プロジェクト	トップリーグ	アジアリーグの発展について検討・推進する。 国内リーグの形態・必要性等課題抽出、論点整理を行い、関係各本部・委員会と推進する。
	競技・地域活性化 (協議会・登録推進)	競技会整備と位置付けの見直し (J-1ce、社会人リーグ等) デハロップメントリーグ(仮)新設検討 全日本選手権の改革検討 普及活動(選手・ファン増加策) 登録推進(選手・指導者・レフェリー) 上記の事項を関係各本部・委員会と連携して推進する。
	普及育成 (ジュニア育成・指導者養成)	指導者ライセンス制度再整備 指導者増加策検討・推進 各年代の指導者育成 各地域トレセンの体制整備 ナショナルトレセンの充実 日本代表強化方針の浸透 上記の事項を関係各本部・委員会と連携して推進する。
	レフェリー	ライセンス制度の再整備 レフェリー数の増加策検討・推進 トップリーグと協働したレベルアップ IHFとの連携、レフェリーの国際化 上記の事項を関係各本部・委員会と連携して推進する。

特別委員会	検討原則	原則内容
スポーツ団体ガバナンスコード対応プロジェクト	原則2 適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。	(1) 組織の役員等の構成における多様性の確保を図ること ① 外部理事の目標割合(25%以上)及び女性理事の目標割合(40%以上)を設定するとともに、その達成に向けた具体的な方策を講じること ② 外部評議員、女性評議員の目標割合を設定するとともに、その達成に向けた具体的な方策を講じること ③ アスリート委員会を設置し、その意見を組織運営に反映させるための具体的な方策を講じること (2) 理事会を適切な規模とし、実効性の確保を図ること (3) 役員等の新陳代謝を図る仕組みを設けること ① 理事の就任時の年齢に制限を設けること ② 理事が原則として10年を超えて在任することがないように再任回数の上限を設けること (4) 独立した諮問委員会として役員候補者選考委員会を設置し、構成員に有識者を配置すること
	原則13 地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。	(1) 加盟規程の整備等により地方組織等との間の権限関係を明確にするとともに、地方組織等の組織運営及び業務執行について適切な指導、助言及び支援を行うこと (2) 地方組織等の運営者に対する情報提供や研修会の実施等による支援を行うこと
	原則1 組織運営等に関する基本計画を策定し公表すべきである。	(1) 組織運営に関する中長期基本計画を策定し公表すること (2) 組織運営の強化に関する人材の採用及び育成に関する計画を策定し公表すること (3) 財務の健全性確保に関する計画を策定し公表すること
	原則3 組織運営等に必要な規程を整備すべきである。	(1) 役員員その他構成員が適用対象となる法令を遵守するために必要な規程を整備すること (2) その他組織運営に必要な規程を整備すること (3) 代表選手の公平かつ合理的な選考に関する規程その他選手の権利保護に関する規程を整備すること (4) 審判員の公平かつ合理的な選考に関する規程を整備すること
	原則6 法務、会計等の体制を構築すべきである。	(1) 法律、税務、会計等の専門家のサポートを日常的に受けることができる体制を構築すること (2) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守すること (3) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守すること
	原則7 適切な情報開示を行うべきである。	(1) 財務情報等について、法令に基づく開示を行うこと (2) 法令に基づく開示以外の情報開示も主体的に行うこと ① 選手選考基準を含む選手選考に関する情報を開示すること ② ガバナンスコードの遵守状況に関する情報を開示すること
	原則8 利益相反を適切に管理すべきである。	(1) 役員員、選手、指導者等の関連当事者とNFとの間に生じ得る利益相反を適切に管理すること (2) 利益相反ポリシーを作成すること
	原則12 危機管理及び不祥事対応体制を構築すべきである。	(1) 有事のための危機管理体制を事前に構築し、危機管理マニュアルを策定すること (2) 不祥事が発生した場合は、事実調査、原因究明、責任者の処分及び再発防止策の提言について検討するための調査体制を速やかに構築すること (3) 危機管理及び不祥事対応として外部調査委員会を設置する場合、当該調査委員会は、独立性・中立性・専門性を有する外部有識者(弁護士、公認会計士、学識経験者等)を中心に構成すること
	原則4 コンプライアンス委員会を設置すべきである。	(1) コンプライアンス委員会を設置し運営すること (2) コンプライアンス委員会の構成員に弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を配置すること
	原則5 コンプライアンス強化のための教育を実施すべきである。	(1) 役員員向けのコンプライアンス教育を実施すること (2) 選手及び指導者向けのコンプライアンス教育を実施すること (3) 審判員向けのコンプライアンス教育を実施すること
	原則9 通報制度を構築すべきである。	(1) 通報制度を設けること ① 通報窓口をNF関係者等に周知すること ② 通報窓口の担当者に、相談内容に関する守秘義務を課すこと ③ 通報窓口を利用したことを理由として、相談者に対する不利益な取扱いを行うことを禁ずること (2) 通報制度の運用体制は、弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者を中心に整備すること
原則10 懲罰制度を構築すべきである。	(1) 懲罰制度における禁止行為、処分対象者、処分の内容及び処分に至るまでの手続を定め、周知すること (2) 処分審査を行う者は、中立性及び専門性を有すること	
原則11 選手、指導者等との間の紛争の迅速かつ適正な解決に取り組むべきである。	(1) 懲罰や紛争について、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構によるスポーツ仲裁を利用できるよう自動応諾条項を定めること (2) スポーツ仲裁の利用が可能であることを処分対象者に通知すること	

※各事業における会期、開催地などは変更される場合がある。
※各事業は、期中予算消費状況などにより実施されない可能性がある。